

オホーツクADHD & LD懇話会講演会のご案内

竹田契一先生の講演会を今年も開催できることになりました。今回は大阪医科大学LDセンター オプトメトリストの奥村智人先生も来北され、「見る力」についてお話しいただけることになりました。視機能訓練ソフト「しっかり見よう」の開発者の先生から直接、「見る力」について学ぶ絶好の機会です。

竹田先生には「君の友だちになるのは一苦労」と題して、発達障害のある子どもたちと学校生活で、社会生活でどんな支援をデザインすべきかについて話していただきます。運動の苦手さ、学びにくさ、暮らしにくさのある子どもたちへの実践や生活に関わりのあるお話です。保育・教育関係者、家族・保護者、福祉関係者、就労の関係者など、お知り合いの方々をお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

と き 2007年9月30日(日曜日) 午後1時から受付 講演終了5時予定

ところ 北見芸術文化ホール 中ホール

参加費 会員500円、会員以外1,000円

主催 オホーツクADHD & LD懇話会 事務局～北見市立上常呂小学校 市野孝雄

後援 北見市教育委員会、児童思春期研究会

内 容

竹田契一先生の講演

君の友だちになるのは一苦労～発達障害児のソーシャルライフを支援する～

LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群の児童生徒が抱える様々な日常の対人関係の障害、言語・コミュニケーションの障害、学習のトラブル、感覚・運動の問題、こだわりなどが原因で社会不適応をもたらす、学校・家庭でパニックになりやすい。また孤立しやすく関わり方がより難しくなる。ソーシャルスキル、コミュニケーションスキルをどうやって身につけるかについて解説します。

竹田契一先生～大阪教育大学名誉教授 大阪医科大学LDセンター顧問

特別支援教育士資格認定協会会長

関連HP <http://www.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2770001>

奥村智人先生の講演

「見る力」の弱さが学習や運動に与える影響

学習や運動でつまずきの原因のひとつに、「見る力」の弱さがあります。上手に「見る」には適正な視力が必要ですが、その他にも、視線を移動させる力、空間を把握する力、形を見分ける力、目と手を連携させる力などたくさんの要素があります。「読み飛ばし、読み間違いが多い」、「算数の図形が苦手」、「コンパスや定規がうまく使えない」、「キャッチボールが苦手」などの特徴がある場合は、「見る力」の弱さの有無を調べ、必要に応じたサポートをおこなうことが重要です。

奥村智人先生～オプトメトリスト 特別支援教育士

関連HP <http://www.joyvision.biz/index.html>

事前申込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。録音録画はご遠慮願います。